



2024～25 年度国際ローター・テーマ  
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報  
WEEKLY REPORT  
**NEWS**  
<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>  
ROTARY 第 2112 回



2024 年 11 月 11 日

◆会務報告

- 2025 年国際大会（カルガリー）についてアンケートご協力をお願い
- 3-year Rolling Goals 3 年計画に対するご理解ご協力をお願い
- 資料送付（3 年計画の進め方、マイロータリーの登録、ラーニングセンターの活用）
- （一社）鹿屋青年会議所・鹿屋 JC シニアクラブ合同忘年会のご案内
- 令和 6 年度鹿屋市献血推進協議会の開催について（通知）
- 風の便り Vol.10 No.4
- ハイライトよねやま Vol.296
- 2024-25 年度 第 3 回奉仕プロジェクト部門勉強会（Zoom）のご案内  
日時:2024 年 12 月 18 日(水)18:30~19:15  
対象者: 地区内会員どなたでも参加可
- 機関雑誌「ロータリーの友」購読申し込みについてのご案内
- 11 月例会変更のお知らせ  
〔志布志 RC〕19 日(火)スポーツ例会  
12:00~大黒本店にて食事後  
13:00~アピア裏 グランドゴルフ  
〔志布志みなと RC〕20 日(水)12:30~大黒本店  
27 日(水)19:30~大黒本店

◆11 月メモリアルデー祝



前田 均さん、前田数郎さん、西丸晴彦さん  
假屋博行さん、久永貢一さん

◆出席表彰

西ノ原庄一さん  
(6 年皆勤)



◆会長の時間

会長 鶴丸秀治さん  
ロータリー財団月間

11 月はロータリー財団月間です。提案したのはアーチ・クラブです。彼は、1869 年にペンシルベニア州の貧しい家庭で生まれました。12 歳で学校を辞めて仕事に就きましたが、後に実業家として大成功しました。フルーツが得意でクリーブランド交響楽団でも演奏しており、数々のクラブに出向いては演奏を披露し、多くのロータリアンから信頼される人物になりました。1913 年にはクラブ会長を、1916 年には RI 会長を務めます。1917 年にアトランタで開催された国際大会で、クラブは「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野でよりよきことをするために基金を



◆11 月誕生者祝

黒松正之さん  
滝本まゆみさん  
椎本康弘さん



次回プログラム		
11 月 25 日(月)		
卓話者: 遠矢達一さん		
担当委員会: ロータリー財団		
3分間スピーチ: 王谷英仁さん		
出席報告	会員数	(38)43 名
	出席数	31 名
	出席率	81.58 %

メイクアップ情報			
鹿屋	11月20日	(水)	ホテルこばやし
かのや東	11月21日	(木)	かのやランドホテル
串良	11月18日	⇒14(木)高山温泉ドーム 18:30~3RC合同例会	
志布志	11月19日	(火)	大黒本店12時食事後 13時アピア裏 グランドゴルフ
きもつき	11月21日	(木)	高山温泉ドーム
南九州大崎	11月21日	(木)	セントロランド
志布志みなと	11月20日	(水)	大黒本店12:30~

鹿屋西ロータリークラブ

会長: 鶴丸秀治  
副会長: 王谷英仁  
幹事: 假屋博行

例会日 月曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212  
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10  
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959  
E-mail [kanoya24@po5.synapse.ne.jp](mailto:kanoya24@po5.synapse.ne.jp)



つくろう」と提案し、これがロータリー財団の前身となりました。また、地区を作りガバナーを置き年に一度年次大会を開くことも提案しました。

クランプが RI 会長を退任時、カンザスシティ・ロータリークラブがクランプに贈呈した記念品代の残り 26 ドル 50 セント現在の価値で 4 万円の寄付からスタートしました。1928 年に正式に「ロータリー財団」と改称され、管理委員会が創設されクランプは初代管理委員長として 1928 年から 1935 年まで務めました。

1929 年の世界恐慌や第二次世界大戦時には寄付金が集まらず、財団の資金を利用して奉仕し改めて財団の重要性を広めることになりました。

2022 年度の財団の支出は 3 億 3,000 万ドル、現在のレートで約 505 億円となっています。「世界中でいいことをするために」は、この金額では足りないのかもしれませんが。日本では我々西クラブにも縁が深い千玄室さんが理事長をされておられます。皆さんの財団へのご理解ご協力をどうぞお願いします。

わかりやすい財団 100 周年の動画を見つけて編集しました。元映像が相当横長でしたので、サイズも変更しています。文字が入りきれないところがありますのでご了承ください。

それではどうぞご覧ください。



## 会員卓話

早川雅子さん

### 「高齢者に優しい不動産賃貸業」

8 月中旬、お世話になっている知り合いの不動産会社社長から、「いざというときに困らない、ぬかりなく孤独死に備える 6 つのコツ」というテーマで、9 月 7 日の講演依頼があった。急遽、ネットで検索すると、「住宅セーフティネット法改正」の記事があった。賃貸住宅の入居を断られる高齢者や障がい者などの住まいの確保のため、大家が貸しやすい環境を整えるため、改正案が、2024 年 6 月 5 日公布され、来年 6 月 1 日施行予定ということである。ここでは、高齢者に限定して説明する。国土交通省の HP によると、民間賃貸住宅の 65 歳以上の入居者が、1988 年、約 66 万世帯であったが、2018 年には、約 222 万世帯と増加した。世帯人員 1 人は、1988 年、44.9%であったが、2018 年には 56.9%に増加した。この動向から、単身高齢者の民間賃貸借住宅を 2040 年には、現在より 200 万件以上確保しなければ



ばならないと試算されている。ところが、高齢者の孤独死も増えており、6 割の家主が、高齢者に対して貸したくないと拒否反応を示しているという。そこで、自治体、不動産業者、福祉関係者が、共同で居住支援体制を構築し、家主の懸念を払拭し、需要に対応できる様に法律を改正したということである。

家主の懸念は、次の 6 つである。生存中は、高齢化に伴い、①賃料支払能力の維持継続への懸念、②近隣迷惑行為等への懸念、亡くなった後は、相続に関して③契約終了の方法に係る懸念、④残置物の取扱いに係る懸念、⑤特別な修繕（特殊清掃等）に伴う費用負担の懸念、⑥事故物件化への懸念である。

①については、連帯保証契約を要求されても、身寄りの無い高齢者の場合、困難である。そこで、保証会社の保証が必要となるが、従来、保証会社への苦情も多かったことから、登録制度とし、ルールや指導をとおして、業務の適性化を図る。

②については、見守りサービスを行う福祉、保険の利用、居住サポート住宅制度を利用する。

③については、終身建物賃貸借、解除関係事務委任契約のモデル契約条項、残置物関係の事務委託契約モデル契約条項の利用、両者に関係することを予め賃貸借契約締結の段階で、内容として盛り込んでおく賃貸借契約モデル契約条項を利用する。

残置物に関しては、生存中、指定送付先を指定する指定残置物、一定期間経過後廃棄する非指定残置物、金銭など相続人に返還する物等を分類し、リスト化し、動産にシールを貼付しておく。

⑤については、亡くなられた後、気づかないまま放置していると、特殊清掃が必要となる。それに伴い事故物件化、費用負担が発生する。賃貸借契約の際に締結した保証契約で対応することや保険に加入することで備えておく。

⑥については、「大島てる」なるサイトも存在し、売買、賃貸契約の際の告知義務、損害賠償請求訴訟で争われるなどしていたが、基準が無かったところ、令和 3 年国土交通省がガイドラインを作成した。自然死、日常生活の中での不慮の死（誤嚥など）で特殊清掃が無い場合は、告げなくてよい。特殊清掃有りの場合は、告知する義務がある。日常使用する共用部分の場合も同様である。隣接不動産や日常使用しない共用部



分の場合は、自然死以外や特殊清掃が為された場合でも告知義務は原則無いが、事件性、周知性、社会に与えた影響等が特に強い場合は、告知義務がある。告知義務のある場合、家主は、一定期間の賃料収入減少となる。日頃の見守りを福祉関係者や ICT 機器を利用した民間の会社に依頼するすることで回避できる。

人の死は避けられないものである、あらかじめ、リスク回避措置を取れば、不動産賃貸業も高齢者に優しい経営が可能となるのである。民間賃貸住宅に関しては、外国人、障がい者との関係も問題となるので、調べてみたいと思った。 以上



ロータリーニュースより

**可能性ではなく時間の問題  
: ポリオ根絶に向けた進展が続く**

世界ポリオデーに、ロータリーのリーダーと公衆衛生の専門家が、世界全体でのポリオ根絶に向けた決意をあらためて表明しました

ワクチンが開発された都市で行われた世界ポリオデーのイベントで、「世界からのポリオ根絶は依然として達成可能な目標である」とステファニー・アーチック RI 会長と公衆衛生の専門家が述べました。

「ポリオについていえば、問題は『根絶されるのか』ではなく、『いつ根絶されるか』ということです。アーチック氏は、ピッツバーグ大学（米国ペンシルベニア州）が主催したライブストリーミング（10月24日）で、このように聴衆に語りかけました。

「ロータリーの行動計画は、ロータリーがより大きなインパクトをもたらすことを目的としています。私たちのポリオ根絶プログラムは、まさにそれを証明するものです」と、アーチック会長。

「何百万人もの子どもが、身体まひを引き起こすこの病気にかかることがなくなるでしょう。この病気に付随する医療費のために、何十億ドルもの資金が費やされることもなくなります。私たちは、これほどまでに大きな進歩を遂げてきたのです」



2024年10月24日、米国ペンシルベニア州ピッツバーグで催された世界ポリオデーの特別ライブイベントで、リンゼイ・ウォードさん（KDKA-TVのキャスター、写真右）とポリオ根絶活動の将来について話す参加者たち

◆スマイル報告

〈 7 件 〉

- メモリアルデーのお祝いありがとうございました。別件ですが、先日インターアクトクラブの韓国での交流会では色々ご支援ありがとうございました。…………… 前田(均)
- 早いもので龍潭クラブでサプライズの 35 周年結婚記念日のお祝いをして頂いてから早や 1 年。昨年大きな結婚祝をして頂いたので、今年は何もしなくて良いかなと思っています。…………… 前田(数)
- いつもご協力ありがとうございます。今月もよろしくお願いします。…………… 鶴丸
- 所用の為、早退いたします。…………… 深水
- メモリアルデーお祝いありがとうございます。…………… 假屋
- 皆勤祝いありがとうございます。…………… 西ノ原
- 誕生日の素敵なプレゼントを頂きましてありがとうございました。大切にに使わせて頂きます。…………… 滝本
- 本日のニコニコ BOX スマイルは 2,567 円です。  
本日計 29,000 円 累計(一般) 145,000 円  
(財団) 45,591 円 (米山) 112,156 円  
\*\*\*\*\* ありがとうございました \*\*\*\*\*

2024-25 年度 国際ロータリー第 2730 地区 Rotary

第 3 回奉仕プロジェクト部門 勉強会(ZOOM)

『国際奉仕活動でクラブ活性化へ』

海外クラブとの共同奉仕活動について  
【姉妹クラブ締結してみませんか】

開催日時 : 2024年12月18日(水)  
18:30~19:15 (45分間)

対象者 : ロータリアンならどなたでも参加可  
講師 (定員100名 先着順)

地区奉仕プロジェクト副部門長兼  
国際奉仕委員長

中村 聡氏 (鹿児島サザンウインドRC)

“国際奉仕の理解を深めることができますよ”

会場: ZOOM  
<https://us06web.zoom.us/j/82799691485?pwd=tP1sbY3O1xOizUCxW2TMSY2dLdKcP1>

ミーティングID: 827 9969 1485  
パスコード: 779324

企画: RID 2730 地区奉仕プロジェクト部門長 田島 幹洋  
職業奉仕委員長 竹井 兼利  
国際奉仕委員長 中村 聡  
社会奉仕委員長 勢井由美子